

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
28年 第5号	28.3.30	<p>J R北海道を民営化から一時的に国有化すべきと考える事に関する陳情</p> <p><b>【陳情趣旨】</b></p> <p>現在、日本は少子高齢化の波が止まらず、人口減少時代に入りつつある。また、全国的に人口は大都市圏に集中し、地方の市町村は人口減少の深刻な影響を受けており、全国の地方鉄道は沿線人口減少で過疎化が進み、路線の減便、廃線が相次いでいる。</p> <p>北の大地の北海道は特に気候風土が厳しく、厳寒期は、猛吹雪が各地を襲い、あらゆる物が凍結し、集落は孤立し人の移動もままならない。広大な交通機関を維持するのは、本土と違い莫大な費用がかさむ。</p> <p>また、北海道の鉄道の黎明期は、明治維新時の富国強兵策の中で、北海道の石炭が国の重要な資源と重要視され、産炭地を中心に鉄道網が構築された。</p> <p>また、戦争の時代を経て、戦後復興の為にエネルギーとして重要視され、産炭地は経済的に繁栄した。</p> <p>その後、安価な石油が輸入され、次第に石炭産業は斜陽化して行き、産炭地は人口が減少し、その後の車社会の到来で鉄道の乗降客の減少に拍車がかかり、大幅な減便、廃線が迫られているのが現状である。</p> <p>北海道全体の経済力の向上を図らない限り、J R北海道は札幌中心圏まで縮小するしか生き延びることはできない。北海道の経済力向上の青写真が描かれるまで、J R北海道を民営化から一時的国有化すべきである。</p> <p>よって、下記事項を陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 J R北海道を民営化から一時的国有化すべきと考え意見書を国に提出すること。</p>	<p>一輪のバラの会 代表 加藤 克助</p>	<p>総務企画</p>